

研究成果報告書 (掲載期間 2020.11－2021.10)

審査学術論文

- (1) 植田俊明：変電所侵入雷サージによる変圧器巻線共振現象に関する検討，電気学会論文誌 B, Vol.141 No.2 pp.1-7, 2021 年 2 月
- (2) 山中章文，長岡直人，馬場吉弘， 本山英器，植田俊明：TEM-delay モデルによる鉄塔- 送電線系雷サージ応答の検証，電気学会論文誌 B, Vol.141 No.2 pp.145-153, 2021 年 2 月

学会発表

- (1) 渡邊稜友，久保貴正，植田俊明：FDTD 法による鉄塔サージ特性に関する検討，電気学会， 東海支部研究フォーラム，R2-1， 2020 年 12 月，オンライン開催
- (2) 三上力也，浅井勇貴，瀧旭宏，植田俊明：Blitzortung 落雷位置標定ネットワークの標定精度に関する検討，電気学会， 東海支部研究フォーラム，R2-2， 2020 年 12 月，オンライン開催
- (3) 辻村浩介 伊藤晃彦 下村宏季，植田俊明：縮小鉄塔モデルのサージ特性に関する検討，電気学会， 高電圧研究会，HV-21-047，2021 年 1 月，オンライン開催
- (4) 坂口和也，田中愁，杉浦健介，植田俊明：洋上風力発電機への雷撃特性に関する実験的検討，電気学会， 高電圧研究会，HV-21-034，2021 年 1 月，オンライン開催

その他 解説

- (1) 植田俊明：絶縁・EMC 設計に用いる解析ツールの動向，電気学会論文誌 B, Vol.141 No.9 pp.576-579, 2021 年 9 月